

地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査の実施について

- 調 査 主 体：津地域高等学校活性化推進協議会
- 調 査 形 態
中学生：一人一台端末でL o G o フォームを活用した生徒アンケートを実施
保護者：市町教委から中学校、生徒を通じてアンケートの依頼を配付
Web による回答か、紙媒体による回答
- 調査対象者
中学生：津地域の国公立中学校に在籍する 2 年生(約 2,000 人)の生徒
保護者：津地域の国公立中学校に在籍する 2 年生(約 2,000 人)の保護者
津地域の国公立小学校に在籍する 5 年生(約 2,100 人)の保護者
(いずれも義務教育学校を含む)
- 調 査 期 間：令和 8 年 9 月頃

参考：令和 6 年度 伊賀地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査

- 調 査 主 体：伊賀地域高等学校活性化推進協議会
- 調 査 形 態：
中学生：一人一台端末の C B T システム利用による生徒アンケートを実施
保護者：市町教委から中学校、生徒を通じて紙媒体アンケートを配付
Web による回答か、紙媒体による回答
- 調査対象者
中学生：伊賀地域の公立中学 2 年生全員 (伊賀市・名張市)
保護者：同上の保護者、伊賀地域の公立小学校に在籍する 5 年生の保護者
- 調 査 期 間：令和 6 年 9 月中旬～10 月 25 日 (金)
- 回 答 者 数
中学生：1,076 人／1,307 人 (回収率約 82.3%)
保護者：1,096 人／2,604 人 (回収率約 42.1%)
- 多言語対応：ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ビザイヤ語

つちいき こっこうりつちゅうがっこう ねんせい
津地域の国公立 中学校 2年生のみなさんへ○ にじげん よと かいとう
二次元コードを読み取り、Web アンケートに回答してください。つちいきこうとうがっこうかっせい か すいしんきょう ぎ かい
津地域高等学校活性化推進 協議会

Web アンケート

みぎわくない か
1 右枠内のIDを書いてください。

ID: TS12345

みぎわくない か
2 右枠内のPWを書いてください。

PW: 0000

3 あなたは、どこに住んでいますか。次の合併前の旧市町村名の中から1つ選んでください。

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| ① 旧津市 | ② 旧久居市 | ③ 旧河芸町 | ④ 旧芸濃町 |
| ⑤ 旧美里村 | ⑥ 旧安濃町 | ⑦ 旧香良洲町 | ⑧ 旧一志町 |
| ⑨ 旧白山町 | ⑩ 旧美杉村 | ⑪ その他 | |

4 あなたの学校の中学2年生は、全体で何人ですか。次の中から1つ選んでください。

- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| ① 20人以下 | ② 21～40人 | ③ 41～80人 | ④ 81～120人 |
| ⑤ 121～160人 | ⑥ 161～240人 | ⑦ 241人以上 | |

5 あなたは、中学校卒業後どのような進路を希望しますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① 高校等へ進学（設問6以降へ） | ② 就職・その他（設問14以降へ） |
|------------------|-------------------|

6 あなたは、高校を選ぶとき何を重視しますか。次の中から6つ以内で選んでください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| ① 学びたい学科やコースがある | ② 確かな学力を身につける授業が充実している |
| ③ 専門的な知識や技能が習得できる（資格取得を含む） | |
| ④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる | |
| ⑤ 地域と連携した活動が充実している | ⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している |
| ⑦ 入りたい部活動がある・部活動が活発に行われている | |
| ⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがある | |
| ⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる | |
| ⑩ 通学がしやすい | ⑪ 学校の雰囲気やイメージがよい |
| ⑫ 施設や設備が充実している | ⑬ 進学、就職の実績がある |
| ⑭ 自分の適性や能力にあっている | ⑮ 先生や保護者、友だちなどの周囲の人の意見 |
| ⑯ 学費や交通費などの経費負担が少ない | ⑰ その他（質問7の自由記述へ） |

7 質問6で「⑰ その他」を選んだ人は、重視する点を書いてください。

8 あなたは、高校にどのような教育を期待しますか。次の中から5つ以内で選んでください。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ① 自ら学び続ける力が身につく教育 | |
| ② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育 | |
| ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育 | |
| ④ 地域を題材として学ぶ教育 | ⑤ 大学や企業などと連携・協働して学ぶ教育 |
| ⑥ 人権に対する意識が高まる教育 | ⑦ 基本的な知識が身につく教育 |
| ⑧ ICTを積極的に活用する教育 | ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育 |
| ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育 | |
| ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育 | |
| ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育 | |
| ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育 | |
| ⑭ その他（質問9の自由記述へ） | |

9 質問8で「⑭ その他」を選んだ人は、期待することを書いてください。

10 あなたは、1学年あたりどれくらいの学級数の高校で学んでみたいですか。

※高校の学級は、1学級40人を基本としています。

- ① 1学級 (40人) ② 2学級～3学級 (80～120人)
③ 4学級～6学級 (160～240人) ④ 7学級以上 (280人～)
⑤ 学級数にはこだわらない

11 あなたは、高校を選ぶとき片道どの程度の通学時間までなら候補に入りますか。次の中から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで ② 60分以内まで ③ 90分以内まで
④ 120分以内まで ⑤ 121分以上

12 高校には、全日制・定時制・通信制の3つの課程があり、来年度から新しく「フレキシブル」が追加されます。あなたが学んでみたい課程はどれですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 全日制課程 ② 定時制課程 ③ 通信制課程
④ フレキシブル ⑤ まだ決めていない、わからない

全日制課程	中学校等と同じように昼間の時間帯に授業を行う課程
定時制課程	夜間その他特別な時間帯に授業を行う課程（昼間部が設置されている学校もあります）
通信制課程	自宅学習を中心とし、レポート提出や、スクーリング（登校して対面で授業を受ける）により学習する課程
フレキシブル	全日制課程に在籍しながら、連携する他校の定時制・通信制の授業も履修できる新しい学びのスタイル

13 高校は学科により学ぶ内容が違います。あなたが学んでみたい学科はどれですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 普通科、普通科系専門学科 ② 職業系専門学科 ③ 総合学科
④ まだ決めていない、わからない

普通科	中学校等で学習したことを基礎として、さらに幅広い一般的な教養を身につけることをねらいとする。国語、数学などの普通教科の授業時間が多い。
専門学科	それぞれの学科に関する専門的な知識・技術を身につけることをねらいとする。専門教科の授業が多い。
・職業系	農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉など職業教育を主とする学科
・普通科系	理数、体育、英語、国際など職業系以外の専門教育を主とする学科
総合学科	普通科と専門学科の両方の性格を持つ学科。自分の進路希望や興味・関心に応じて、科目を選択して学ぶことができる。

14 将来、あなたはどこで生活したり、働いたりしたいですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 地元（津市） ② 津市以外の三重県内 ③ 県外 ④ 海外
⑤ 一度は地元を離れても、いつかは戻りたい ⑥ まだ決まっていない、わからない

15 質問14でそのように答えた理由を書いてください。

16 「高校や将来に関するアンケート」の内容に関して、考えや思いがあれば、書いてください。

資料2③
保護者説明

「津地域の県立高校に関するアンケート」について

ちゅうがっこう ねんせい しょうがっこう ねんせい ほ ご しゃ みなさま
中 学校 2 年生及び 小 学校 5 年生の保護者の皆様へ

れい わ ねん がつ ち い き こう とう が っ こ う か っ せ い か す い し ん き ょ う ぎ かい
令和 8 年 ● 月 津地域高等学校活性化推進 協 議会

令和 5 年度に設置された本協議会では、今後の中学校卒業生数の減少が見込まれる中、津地域の県立高校の学びと配置のあり方について検討を行っています。協議を進めるにあたり、当地域の中学生や保護者の皆様の意見を参考にしたいと考えていますので、裏面の【資料①～③】やこれまでの協議会の資料等を参考にして、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（中学校 2 年生の生徒を対象に、別途、アンケートを実施しています。）

○ 調査対象

- 津地域（津市）の国公立中学校 2 年生及び小学校 5 年生の保護者（義務教育学校を含む）
- ※両方の学年にお子さんがいる場合や、同じ学年に複数のお子さんがいる場合は、複数案内が届きますが、いずれかの ID・PW を使用し、回答は 1 回のみとしてください。

○ 調査方法

- Web アンケートにより回答（LoGo フォーム〈県の電子申請・届出システム〉を使用）
- パソコン、スマートフォンなどから、下記のアドレス（URL）または右の二次元コードへアクセスし、回答してください。

アドレス（URL） <https://logoform.jp/f/●●●>



※Web による回答が難しい場合は、回答用紙に記入してください。

※日本語以外でもアンケートできます。（詳細は別紙「●●●」をご覧ください。）

○ 回答期限 令和 8 年 ● 月 ● 日（● 曜日）まで

※回答用紙を利用する場合は、在籍する小中学校へ提出してください。

○ その他

- 回答いただいた内容や集計結果は、本協議会など公開の会議の資料として使用します。
 - このアンケートに関するご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。
- 【事務担当】三重県教育委員会事務局 教育政策課 059-224-2951（平日 9:00～17:00）

（ 参 考 ）

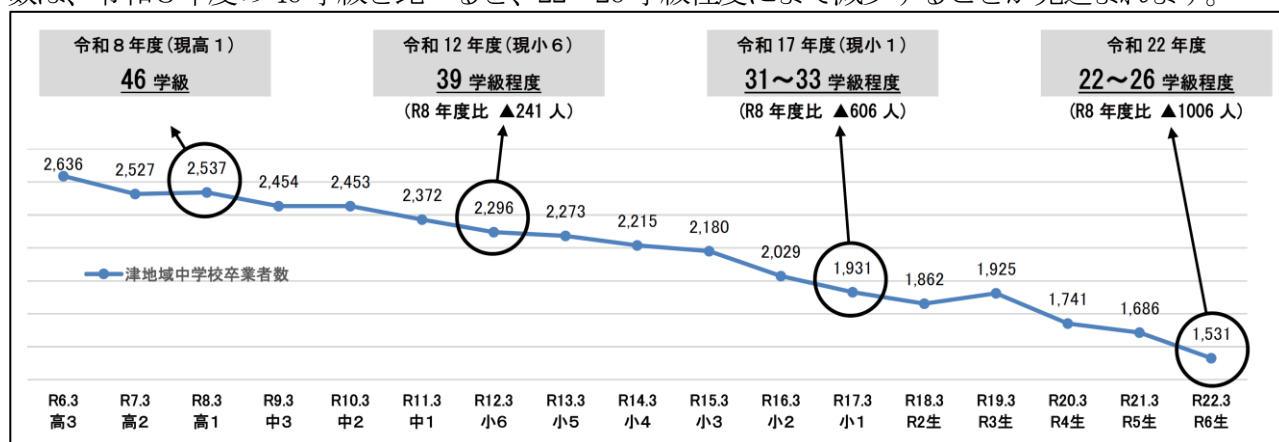
他地域を含む、これまでの協議会の概要や配付資料については、県の Web ページをご覧ください。

三重の教育「各地域における高等学校活性化推進協議会」 ⇒
（ <https://www.pref.mie.lg.jp/KYOKAI/HP/kasseika/19674018868.htm> ）



【資料①】津地域の中学校卒業生数と県立高校（全日制）の学級数の予測

令和8年3月の津地域の中学校卒業生数は2,537人でした。小中学校在籍者数や出生数から今後の中学校卒業生数を予測すると、15年先の令和22年3月には約4割減の1,531人になることが見込まれています。中学生の進路状況が現在と大きく変わらなければ、津地域の県立高校（全日制）の学級数は、令和8年度の46学級と比べると、22～26学級程度にまで減少することが見込まれます。



【資料②】津地域の県立高校（全日制）の学科・コース〔令和8年度高校1年生〕

学校名	大学科※	募集定員	1	2	3	4	5	6	7	8
津	普通科	320	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
津西	普通科	320	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学科	国際科学科
津商業	専門学科	240	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	ビジネス科	情報システム科	全46学級 普通科※ 27 専門学科 19 （工業6） （商業7） （農業4） （家庭2） 総合学科 0	
津東	普通科	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科		
津工業	専門学科	240	機械科	機械科	機械科	電気科	電子科	建設工学科		
久居	普通科	160	普通科	普通科	普通科	普通科				
久居農林	専門学科	240	生物生産科	生物資源科	環境情報科	環境土木科	生活 デザイン科	生活 デザイン科		
白山	普通科 専門学科	80	普通科	情報 コミュニケーション科	※大学科の「普通科」には、普通科系専門学科を含みます。					

※定時制では、みえ夢学園高校（総合学科：午前の部、午後の部、夜間部 各40人）があります。

※令和9年度入学生（現中3）は、津西高校、津商業高校、久居農林高校で、各1学級減となります。

【資料③】これまでの当協議会における主な意見（配置や規模、統合について）

（令和8年度第1回津地域活性化推進協議会【資料14】より引用）

- ・大学進学ニーズに応える普通科高校については、多様な選択科目を開設し、専門性の高い教員を各教科に配置することが求められることから、1学年8学級あることが望ましい。
- ・津地域には普通科の高校が多く設置されており、多様なニーズに応じていくためには、専門学科の選択肢を維持するとともに、普通科の特色化・魅力化についての議論が必要である。
- ・学級数と、部活動の設置数や生徒の参加状況との相関から、部活動の活性化のためには1学年4学級以上が望ましい。また、生徒の安全の確保に必要な顧問を配置するためにも一定規模があったほうがよい。
- ・学校規模によらず一定の校務が存在することから、小規模化が進むと、一人ひとりの教員が子どもに向き合う時間を確保することが難しくなる。
- ・小規模校には、全ての教職員が個々の生徒の抱える背景等を把握したり、丁寧に関わることであったりするなど、小規模校ならではの良さがある。
- ・多様な子どもたちがいる中で、沿岸部ではなく自然豊かな場所で学びたいと考える子どもが選択できる学校もあるとよい。
- ・15年先を見据えたときに学校を減さざるをえないのであれば、子どもたちのためにいくつかの学校を再編して、どこかの場所に新しく建て直すということを考えてはどうか。

- 二次元コードを読み取り、Webアンケートに回答してください。
- Webアンケートによる回答が難しい場合は、回答用紙をご利用ください。



Web アンケート

- 1 右枠内のIDをお書きください。
- 2 右枠内のPWをお書きください。

ID: TP12345
PW: 0000

- 3 あなたは、どこに住んでいますか。次の合併前の旧市町村名の中から1つ選んでください。

- ① 旧津市 ② 旧久居市 ③ 旧河芸町 ④ 旧芸濃町
⑤ 旧美里村 ⑥ 旧安濃町 ⑦ 旧香良洲町 ⑧ 旧一志町
⑨ 旧白山町 ⑩ 旧美杉村 ⑪ 津市以外

- 4 あなたのお子さんはどちらの学年ですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 中学2年生 ② 小学5年生 ③ 両方

- 5 あなたのお子さんが所属する学年は全体で何人ですか。次の中から1つ選んでください。

※質問4で「③ 両方」を選んだ方は、中学校2年生のお子さんについてお答えください。

- ① 20人以下 ② 21～40人 ③ 41～80人 ④ 81～120人
⑤ 121～160人 ⑥ 161～240人 ⑦ 241人以上

- 6 お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。次の中から6つ以内で選んでください。

- ① 学びたい学科やコースがある ② 確かな学力を身につける授業が充実している
③ 専門的な知識や技能が習得できる（資格取得を含む）
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる
⑤ 地域と連携した活動が充実している ⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがある
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる
⑩ 通学がしやすい ⑪ 学校の雰囲気やイメージがよい
⑫ 施設や設備が充実している ⑬ 進学、就職の実績がある
⑭ 自分の適性や能力にあっている ⑮ 先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見
⑯ 学費や交通費などの経費負担が少ない ⑰ その他（質問7の自由記述へ）

- 7 質問6で「⑰ その他」を選んだ方は、重視してもらいたい点をお書きください。

8 あなたは、高校にどのような教育を期待しますか。次の中から5つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育
- ② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
- ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
- ④ 地域を題材として学ぶ教育
- ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
- ⑥ 人権に対する意識が高まる教育
- ⑦ 基本的な知識が身につく教育
- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他(質問9の自由記述へ)

9 質問8で「⑭ その他」を選んだ方は、期待することをお書きください。

10 お子さんには、1学年あたりのどれくらいの学級数の高校で学んでももらいたいですか。
※高校の学級は、1学級40人を基本としています。

- ① 1学級(40人)
- ② 2学級～3学級(80～120人)
- ③ 4学級～6学級(160～240人)
- ④ 7学級以上(280人～)
- ⑤ 学級数にはこだわらない

11 あなたは、お子さんが高校を選ぶときに片道どの程度の通学時間までなら許容できますか。次の中から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで
- ② 60分以内まで
- ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで
- ⑤ 121分以上

12 将来(中学・高校・大学等の学校を卒業後)、お子さんにはどこで生活したり、働いたりしてほしいですか。次の中から1つ選んでください。

- ① 地元(津市)
- ② 津市以外の三重県内
- ③ 県外
- ④ 海外
- ⑤ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってきてほしい
- ⑥ 本人の希望次第
- ⑦ 特に考えはない

13 現在、津地域には全日制の県立高校は8校あり、令和8年度第1学年の総学級数は46学級（平均5.75学級）です。今後、中学校卒業生数が減少することにより、15年先の令和22年度には、1学年の総学級数は22～26学級程度となることが見込まれています。

こうした総学級数の減少への対応として、あなたの意見に最も近いものはどれですか。【資料

①～③】や下記の表を参考に、次の中から1つ選んでください。

- ① できるだけ学校の数を維持するため、統合を避けてほしい。
- ② できるだけ学校規模（1学年の学級数）を維持するため、統合を進めてほしい。
- ③ その他（質問14の自由記述へ）

（○：メリット、▲：課題）

	統合を避ける (学校の数を維持する)	統合を進める (学校規模を維持する)
15年先の 学校の数と学校規模	統合を避け現在の8校を維持すると、各校の学級数が減り1学年平均3学級程度になる	現在の1学年平均5.75学級を維持すると、いくつかの学校が統合し4校程度になる
学校の選択肢	○学校数としての選択肢は維持される ▲各校の小規模化が進むため、学校規模のバリエーションは減る (例：2+2+3+3+3+3+4+4 = 8校24学級)	○統合にあわせて、工業科と普通科を合わせた学校など、新しいタイプの学校を設置することができる ○多様な規模の学校を配置することが可能 (例：4+6+6+8 = 4校24学級) ▲学校数としての選択肢は減る
学び	○体験的な学習や校外活動を機動的に行うことができる ▲各学校の教員数が減るため、多様な教科・科目の開設が難しくなる	○各学校の教員数が維持されるため、多様な教科・科目が開設できる。
学校生活	○一人ひとりの学習状況や背景を全教職員が把握しやすい ○一人ひとりが活躍する場や機会が多くなる ▲人間関係が固定化されやすい。	○多様な生徒との出会いがあり、切磋琢磨できる ○文化祭や体育祭など集団で行う行事が充実する
部活動	▲部活動数や部員数が減り、集団競技では単独チームでの出場が困難になる	○部活動数や部員数を維持できる ▲複数の部活動で体育館・グラウンドなどを使うため、時間や広さの制限がある
通学	○通学時間や費用の面からの選択肢が維持される	▲統合により、通学時間や費用が増える生徒が生じる

※文部科学省「高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ 参考資料」R7.2.12、「公立小学校・中学校の適正規模・訂正配置等に関する手引（改訂版）」R8.8.5を参考に作成

14 質問13の①～③を選んだ理由や、今後の津地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

15 今後の津地域の県立高校の学びのあり方について、ご意見があればお聞かせください。

※ありがとうございました。